

用件。

多分3月 日から1泊2日で外出します。

冠婚葬祭など急用があれば以下の手順でお願い申し上げます。

1・YY様が、我が家に電話をする（●●●—●●—●●●）。



2・留守電にメッセージを入れる。

{電話が5回ほどなった後で、間をおき、「御用の方はファックスか、ピーとなった後で御用件をお話してください」というメッセージが流れます。ピーの後で用件を言ってください}

以上で終了



3・どこからでも、私は留守電内容を確認することができます。

私は毎日と留守電確認をしています。通常は朝昼晩と三度が多いです。

その後は下記の如く、きっちりと対応いたします。

(NT組合全員の電話番号は宿泊時には常に持参しております)

下記の如く、冠婚葬祭には、常識上、穴があくことはありません。以下を参照ください。
本来は以上で終わり。

ここ数年間は、姫路駅で12時5分頃確認。何かあれば折り返して戻ります。折り返し電車は12:20 姫路駅発、特急スーパーはくと5号利用で、林野駅には当日の13:59についております。我が家には14時半に到着となります。もし、MKW君が午前11時30分に我が家へ連絡しても、14時半には我が家におります。

そこで、Z家の小母さんの如く、当日、お通夜、翌朝葬儀でも穴はあきません。林野界限で仕事をしている人と同様となります。宿泊翌日も朝昼夜に我が家へ電話で…OK

昼以降の不幸があった場合は、通常、お通夜は翌日となります。その場合には夜の我が家への電話確認で十分対応できます。

万一、Z家の小母さんのケースで（当日お通夜、翌朝葬儀）で、MKW君が連絡が遅れて、我が家へ夜にされても、葬儀には十分間に合います。

最終電車の時間を掲載します。

岡山駅 23:06 発で津山着 00:29 があるからです。そこで、津山駅で姫路行き汽車を待ち、午前4時54分発、林野駅着午前5時15分着、我が家着午前5時30分頃着となり、葬儀には完全に間に合います。

津山駅行き岡山駅最終便 23:06 発とは、新大阪ならば21時47分、東京なら19:30、水俣ならば20:05、姫路ならば22:31 発で間に合います。

例えば、新大阪駅には21:47（岡山駅22時47分着）に行けばよいので、18時から21時の間に一度電話確認すれば、翌朝午前5時半には我が家着となります。もし、大昔の如く、お通夜で夜をふかすでも、津山駅からタクシー利用ならば午前1時半には葬儀会館に行け徹夜で故人をしのび、翌朝葬儀参加が可能です（現在はそこまでの必要はないでしょう）。もっとも、数年前ならば姫路に中継点を取る場合が多いので、22:31までに姫路駅につけば良いとなります。

これはZ家の小母さんの如く、当日お通夜、翌朝葬儀で、しかも、組合長が連絡ができずに夕方か夜にした最悪のケースの話です。それでも穴はあかないのです。

これが東京ならば19:30の新幹線で、水俣ならば新水俣駅20:05の新幹線で…翌朝の午前5時半には津山からタクシーを利用しなくても我が家へ帰っているとなります。

これは（当日お通夜、翌朝葬儀）で、組合長の連絡が夕方か夜という最悪のケースの話です。実際にはこうしたケースは余りないと思います。そこで、仕事で行くかどうかも含めて、穴があかない場合には、組合の皆様には無関係事項かと思えます。重要なことは、組合長にだけ連絡方法を伝えればよいとなります。

今回以外でも、私が留守のときには国内では上記の形で対応できます。このシステムは母生存中に開発しており、NT 組合 HU 寺の檀家には伝えていたのですが。

実際に、外出することを HU 寺の案内箇所伝えて大阪にいたときに、Z 家の小母さんから我が家へ留守電のメッセージが入っており、即座に確認できましたが、急ぎでもないようなので夕飯時間を待ち、当日、Z 家の小母さんに大阪から電話をしたことがあります。用件は何だったのかサッパリ分からない内容でした。

何も用がないのに実験でお電話を頂いたようですが、きちんと対応可能でした。確か 2010 年のことだと思います。

国内でのフィールドワークでは全て穴は開かないように組んでいました（連泊の場合には毎日電話確認をしています）。そこで組合長に連絡だけでよいとなります。皆様が、奥さんの実家に泊まりに行かれるのと同様です。しかし、ほとんどがトラックの運転手さんの遠方への配達同様のビジネスでした。これから、それらを HP で順次公開していきます。もっとも、起業（開業）機密が絡むビジネスが大半でした。

これは Z 家の小母様とは無関係と思えますが、早朝 5 時頃出発で、1 時頃寝ると、午前 3 時頃に我が家へ悪戯電話があったり…とかなり、フィールドワーク妨害は多かったようです。

なお、スマホを所有しているため、携帯電話方式ならば更に機敏に動けますが、本当の話ですが、私は携帯電話の使用の仕方を十分知らないのです。通話口と聞く場所も不明であり、電話の切り方もサッパリ分からず…でしたが、最近少しずつわかってきつつあります。

2021/10/06 時点で、他人との通話で成功したのは、姉宛（ずつ）の実験の 1 回のみです。後は最近練習を兼ねて、我が家へ自分でかける練習状態です。嘘のようですが、私が携帯電話を購入したのが、起業上やむなくの 2015 年です。それまでは持ったこともないのです。

購入目的は電子書籍をスマホで見た場合のレイアウト確認でした。携帯の使用量は原則として毎月ゼロ円で、例外が我が家への実験での費用で月に数十円程度でしょうか。ひどいときには我が家の中で、携帯から我が家内の固定電話にかけ、自分で受話器と送信機を持つという有様です。

超多忙の上に、携帯電話を使用する必要性がないため、覚えられないのです。ちなみに、私はカメラは詳しいですが、コンパクトカメラは未だに使い方が分からないときあり、スマホで写真を撮るなどは不可能に近いです。パソコンは詳しいですがスマホは駄目です。

いずれ携帯電話の使い方を覚える予定ですが、この 2 年間は宿泊どころかバスも電車も車も乗っていないため、意味がないということで後回しとしています。車は㊦ 従兄弟 A さんの葬儀で葬儀会館から火葬場へのバスが 2 年ぶりくらいでしょうか。

携帯が可能となれば、KTH 氏のお母さんの件ならば、午前 10 時頃に東京で電話をうけても、当日の 17 時頃には KTH 家に行けるとなり、更に機敏となります。

誰かがデマをとばしているが如く狂ったような妨害が多いため、田舎でも私が想像できないようなデマが飛んだ気配もあり、参考記述をしました。

一番上の赤字二つだけで本来は十分です。

トラブル防止用にこの文書も人名を略号に変え、HP でガラス張り公開します。

（類似文書：私的ブログ）

「フィールドワークにいけば冠婚葬祭に穴があこう」…型のデマと視察旅への長年の心理妨害について。 <http://h-takamasa.com/Blog-2/Archives-3/service/404/>

【2021/10/07 17:16 追記】

現在はコロナ禍で、家族葬のようです。☑従兄弟 A さんや、親戚のボスさんのお通夜や葬儀でも NT 組合の人はほとんど見ていません。また、葬儀準備も不用の用です。そこで、お通夜・葬儀両方出席のどちらかでよいため、過去と異なり、留守電確認は一日約 2 度とする予定です。同時に、過去の如く、厳密な態勢は構築しません。

なお、ありえませんが両方に出られなくても、NT 組合葬ではなく家族葬ならば、後日香典送付でも対応できます。MSH 様の香典などは亡くなられて数か月後に送付しております。我が家の母のときでも遅れた香典がありましたし、過去には一年後に香典送付の実例もありますが、香典返しだけを堅く固辞すれば、別に問題はないかとも思います。

家族葬ならば、通常は余り神経質になる事項ではないとは思いますが、謀略に備えての過去の対応策を紹介しました。

MKW 様 : NT 組合長・YY 様

~~2021/10/08 記述し、2021/10/09 郵便ポストへ投函予定~~ 2023/03/15 郵便ポスト投函予定

浜田隆政

虫蛇足。

香典は、私が餓死直前まで NT 組合では公平に行う予定です。しかし、グラデーション問題があります。例えば、最近、住まわれた HNO 様 (KZH 家の後に入られた方) の両親が NT 組合以外にお住まいの場合には例外となります。MYK 様の御両親でも中田外のため同様です。HKH 君の御両親場合には NT 組合ではなく KM 組合のため、HKH 君ではなく、HKH 君のお父さんから我が家へ頂いた香典額のリターン (+α) となります。公平基準原則です。NT 組合在住の HKH 君などの不幸の場合は NT 組合の前例を踏襲となります。冠婚葬祭類は多い額も、相手が「しまった」と思うためよくなく、額調整は難しいものです。

孫の祝い (子供の祝いも同様) などは、僅かでもしますと、「我が家はもらっていないのに…」という家が多数でて、人間関係を壊すため、私は☑従兄弟 A 家も含めて一切していません。MSH 様のお子さん・●●さんや●●さんも NT 組合から子供の出産祝いはもらっていないと思います。類似の家が多数あります。もしするならば、自治会の千万円以上ある積立金等で自動的に自治会全体からの出産祝いとして処理すればよいと思っています。

厄介なことは、母が生前中に私の名前を使用した冠婚葬祭類があったとすれば頭が痛くなります。母は、母が子供の頃 (一世紀・百年ほど前の) の美作市●●周辺での風習で何かをする危険があるからです。

我が家は浄土真宗でしたが、私が檀家総代を無理矢理やらされるまでは、母は真言宗の様式で全ての勤めをしていたようです。それに釣られて各家 (NT 組合の浄土真宗の家) も真言宗か天台宗の様式をしていたようです。浄土真宗には初盆などは無縁です、灯籠流しなどはもってのほかですが、昔は我が家ではいずれもしていました。冠婚葬祭も母は大昔の、●●村当たりの習慣を位田の習慣と勘違いが多数あったようです。

しかし、母の勘違い以外に、誰かが故意に住民対立を煽 (あお) り、冠婚葬祭を悪用して、何らかの工作をした疑惑があります。

なお、結婚式についても昔とは上記とは別に違っています。昔は村落共同体社会 (農業中心での共同田植え・稲刈り…葬儀も埋葬で組合全員の力で) から、今は目的共同体社会 (大半が会社・役場勤めで、農業などでの共同作業がなくなった…葬儀も業者中心) への移行に伴い、結婚式祝いも変化をしつつあります。いずれ HP に詳細に書きます。

昔は、結婚式は埋葬時代の葬儀と同様に NT 組合で結婚式をあげていました。ホテルなどがない時代でもあります。祝いや香典類は金融業が未発達のため、講同様に小金の貸し借りを意味していました。

(A 時代) 組合は葬儀費用・結婚式費用の調達の場合と、(ホテル等の業者抜きで) 準備を全て NT 組合全員でやるという時代です。

(B 時代) この時期は二つに分かれます。

結婚式はホテルが主流となりますが、村人への挨拶から、結婚式とは別に NT 組合用披露宴をするという二重時代になりました。要するに、正式な結婚式に招待される場合と、正式な結婚式には招待されないが、NT 組合用披露宴のみに招待される場合の二重時代になりました。

後者でも参加する場合には新郎新婦に借金をさせる訳にはいきませんので、一定の祝いは不可欠ですが、前者とは額は違います。

(C 時代) 今は、NT 組合用披露宴をされない家もでてきました。

(A 時代) $(\text{参加する人の飲み食いと儀式用の全費用} + \alpha) \div \text{参加者人数}$

(B 時代) (B) 正式結婚式参加時は {結婚式費用時の自分の食事代分+祝いの一部}、(B') NT 組合用参加のみの場合には {(NT 組合用披露宴費用+祝い類の一部) ÷ 組合員数} となります。(B) と (B') は一人当たりの食事代・場所代等のコストが違ってきます。

(C 時代) 理論上は不必要ですが、(B) と (C) が両方あるため、誰もどうしてよいか迷っている時代です。

私は老後破綻一步前のため、招待されぬ場合にはもはや祝いは不可能となっています。しかし、招待され参加する場合には、新郎新婦に赤字にする訳にはいきません。ただし、正式結婚式参加と NT 組合用披露宴参加の場合には額が違います。何故ならば、参加者一人該当に対するコストが違っているのですから。

今は過渡期で大変ややこしい時代です。

合理的に言えば、(A) (B) と (B') (C) では参加する人一人当たりにかかる金額 (場所代・食事代等の費用) が違っているからです。

冠婚葬祭類は、村落共同体社会から目的共同体社会へ移行した以上、いずれ大きく変化しなければトラブルが絶えないでしょう。ただし、我が村でのトラブルは、そこをいつまで誰かが村でトラブルを蔓延するための工作をした疑惑があります。

理想は、恐らく、位田の親睦旅行ツアー同様に、会費制が一番望ましいと想像しています。主催者の側 (新郎新婦) が会費を決めて、参加するならばその会費を支払い、不参加の場合には支払わない。なお、途中でのキャンセルはツアー同様にキャンセル日に応じて金額を決めるという合理的システムが望ましいと考えています。

NT 組合用披露の場は、忘年会などをまだするならば、その場での挨拶程度でよいのではないのでしょうか。せいぜい、年末の忘年会に一軒原則 2 人参加とは別に無料で新郎新婦は参加できる程度でよいのではないかと思います。

例外は親子や祖父と孫類でしょうか。

せいぜい、付き合いがふかければ三親等まででしょうか。

葬儀で花輪をずらりと道に並べる時代は終わったのです。生きている人間が一番です。

同様に、結婚式は、心から全員が祝福できることが一番であり、「結婚式か参った」では逆となります。

冠婚葬祭は昔は運命共同体で NT 組合抜きでは不可能であった時代、次に冠婚葬祭は人間関係の潤滑油の時代、そして今は冠婚葬祭はトラブルの温床となる時代となっているようです。そこを、狙って誰かが工作をしたのでしょう。

いつか、**理論** (理論) 的面と日本の先端例の実例から HP にでも掲載予定でいます。

なお、今は家制度も崩壊しつつあり、形式よりも実質 (合理性) の時代でもあります。